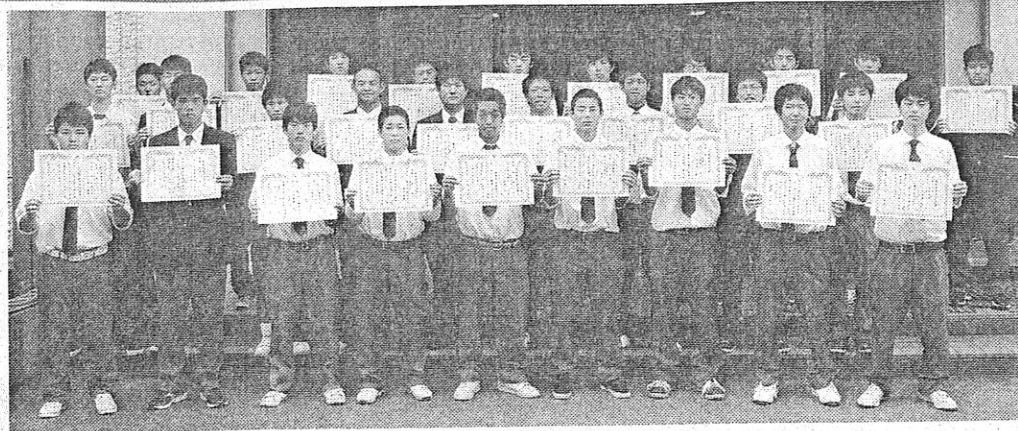


29人が国家検定合格

各種3級

田辺工業高



賞状を持つ技能検定の合格者（田辺市あけぼので）

2015年度後期技能検定で、田辺工業高校（田辺市あけぼの）の生徒が29人合格した。20人を超えるのは今回が初めて。

技能検定は厚生労働省が定めた実施計画に基づいて、中央職業能力開発協会が試験問題などを作成し、各都道府県が実施している国家検定。技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を進めることを目的としている。

試験は実技と学科があり、

合格基準は100点満点中、実技が60点以上、学科が65点以上。1月から2月にかけて試験があった。

同校では、2005年度から国家検定を受験させる取り組みが始まった。今回は機械加工の職種のうち普通旋盤作業3級に7人（受験者は13人）、機械検査の職種で機械検査作業3級に16人（同22人）、電子機器組み立ての職種で電子機器組み立て作業3級に3人（同6人）、電気機器組み立ての職種でシーケンス制御作業3級に3人（同3人）が合格した。

検定職種によって異なるが、試験の程度は3級が「初級技術者が通常有するべき技能の程度」となっている。合格すると都道府県知事の合格証書が交付され、技能士と称することができる。

機械科教諭の沖見衛さん（59）は「受験者と合格者がこれまでより多かったのは、生徒のやる気や先輩が築き上げてきた風潮だと思う。学校も土日曜を返上してサポートしている」と話した。

機械検査作業3級に合格した機械科3年の中村幸紀君（17）は「これまでに電気工事や危険物取扱者など資格をいくつか取得し、今回は国家検定に挑戦した。今度は、難しいかもしれないけれど、機械検査作業2級取得を目指して頑張りたい」と話した。